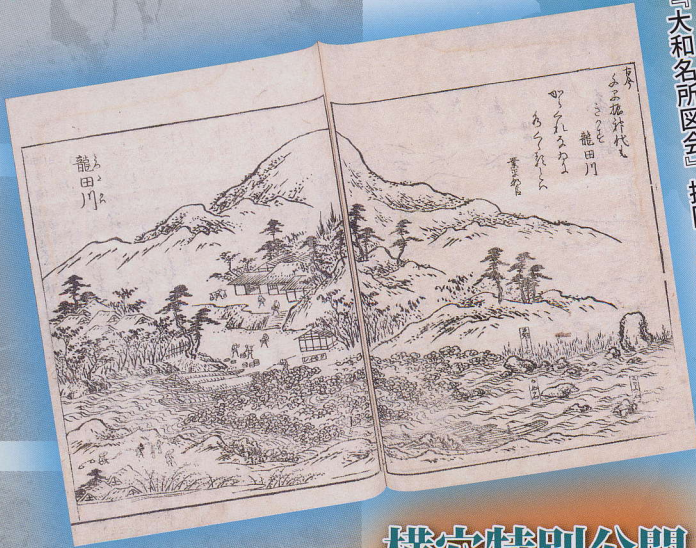


春季企画展



『大和名所図会』挿図「龍田川」

横穴特別公開

5月16日(土)
10:00 ~ 15:00

文化財講演会

4月25日(土) 13:30 ~
岡島永昌氏
(王寺町教育委員会)

「剣先船から
魚梁船への荷継ぎ」
定員 90名
申込不要、入場無料

2015年
3月28日(土)
▼
6月14日(日)

行幸も地すべりも、
亀岩は見てきた…

大和・河内をつなぐ道

亀の瀬の歴史

主催：柏原市・柏原市教育委員会
王寺町・王寺町教育委員会
三郷町・三郷町教育委員会
後援：国土交通省大和川河川事務所

入館無料

柏原市立歴史資料館

JR 関西本線「高井田駅」北へ徒歩 5分 近鉄大阪線「河内国分駅」北へ徒歩 15分

大阪府柏原市高井田 1598-1

9:30 ~ 16:30 月曜休館 (祝日は開館) 072-976-3430

亀の瀬の歴史

～大和・河内をつなぐ道～

亀の瀬は、大阪府と奈良県の境に位置し、川を通じて府県を結ぶ唯一の場所にあたります。このため、古代から大和川の右岸に竜田道が開かれ、舟運の利用も盛んで、大和と河内をつなぐ道として機能してきました。また、近代には大阪府と奈良県をつなぐ最初の鉄道が敷設されるなど、古来より交通上に重要な位置を占めてきました。

川幅が狭くなり川の中に多くの岩が露出する亀の瀬は景勝の地でもあり、『万葉集』以来多くの歌に詠まれてきました。しかし、そのような地形であるために、交通の難所でもありました。近世でもここで舟運は区別され、その間は山越えの道が利用されました。そして、地質上の問題から地すべりが繰り返されてきたようで、昭和6～7年には亀瀬トンネルが崩壊し、線路を対岸に迂回させることになりました。現在でも亀の瀬での災害は、両府県にとって大きな関心事であり、災害防止のための工事が長年にわたって続けられてきました。

今回の展示は、このような亀の瀬の歴史を学ぶ場とします。亀の瀬は、柏原市にとどまらず奈良県王寺町、三郷町にも深く関係するため、三市町の共催で実施します。広域で取り組むことによって、展示内容を豊かにすることはもちろん、防災面や観光資源としても重要な亀の瀬についての認識を新たにし、市町民においてもお互いの理解・交流を深める場としたいと思います。なお当館での企画展終了後、王寺町、三郷町でも巡回展を実施し、それに伴う講演会や見学会などのイベントも企画しております。ご来館いただき、豊かな亀の瀬の歴史に触れていただきたいと思います。

—主な展示資料—

玉手山9号墳竪穴式石室石材、茶臼塚古墳竪穴式石室石材、竹原井頓宮跡（青谷遺跡）出土軒丸瓦（以上当館所蔵）、「乍恐以書付歎願奉申上候」（当館所蔵東野家文書）、別当東一坊蔵板「和州平群郡立野龍田本宮」（龍田大社所蔵）、別当東一坊蔵板「和州平群郡立野龍田本宮」版木（奥野和人氏所蔵）、安村家過去帳（善福寺所蔵）、魚梁船復元模型（河合町教育委員会所蔵）、亀の瀬絵図（新野治一氏所蔵）、藤井問屋関係印判類（池内修氏所蔵）、「支配人并仲仕江常々心得之覚」（池内修氏所蔵）、「荷物通」（谷甚四郎氏所蔵）、『大和名所図会』卷之三（塩谷和久氏所蔵）、亀瀬トンネル煉瓦、柏原駅旧駅舎レール、絵はがき、「地割区域略図」、『大和川筋亀ノ瀬地辻に関する調査（第一）』、災害復旧工事トロッコ用レール（以上当館所蔵）